



ほのほのだより ～園の歌を手話で歌おう～

7月の歌は「たなばた」です。 作詞：権藤 花代・補作詞：林 柳波・作曲：下総 皖一

今月紹介する手話ソングは「たなばた」です。七夕はもともと中国の行事だそうで、短冊を飾るのは日本特有の習わしだそうです。園庭の笹の葉も子ども達の願いがこもった短冊や、笹飾りで賑やかに飾られました。子ども達の願い事、叶うといいですね。行事の由来や意味も紙芝居を用い子ども達に伝えていきます。

① ささ



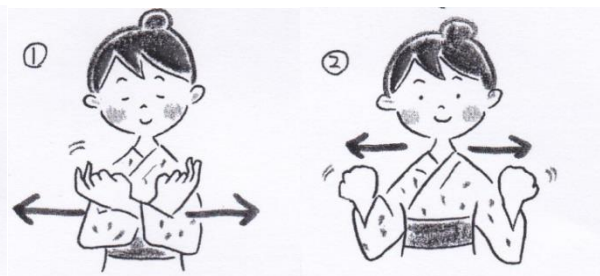
指の文字の「さ」を2回

② のは



左手を前に広げ、右手でなぞる。

③ さらさら



手の甲を前に向け、手を交差させて出し、両手の親指から順に降り左右へひく

④ のきばに



①両手で屋根をつくり
②左手はそのまま右人さし指でさす

⑤ ゆれる



胸の前で手の平をゆっくりゆらす

⑥ おほしさま



右手の指先を自分に向け、指先を開いたりとじたりする

⑦ きらきら



⑥と同じ動きを両手でやる

⑧ きん



親指と人さし指で輪を作り、手首を回す

⑨ ぎん



歯を指さしてから
⑧と同じ動き

⑩ すなご



→⑧
両手の平をこすり合わせるように左右にひく

⑪ ご



親指のみ左へ向けて伸ばす

⑫ しきの



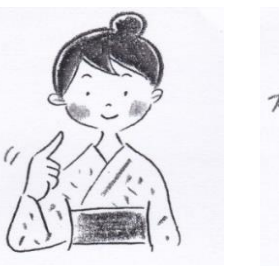
両手の親指と人さし指でつまんだ物をつねるしぐさ

⑬ たんざく



両手の人さし指で胸の前に長四角を作る

⑭ 私が



自分を指さす

⑮ かいた



上から下へさらさら書くように動かす

⑯ おほしさまきらきら

⑥⑦とおなじ

⑰ そらから



手のひらを前に向け、頭の上で交差させ、大きく半円を描くように下へ下げる

⑱ みる



人さし指と中指を自分にけ、右上から自分の方へ動かす



民衆社 手話でうたう日本の童謡・唱歌ベストアルバム 参照